

第一学期始業式式辞

令和5年4月7日

※ 新しい学年、新しい学期初め・・・「始めたら始まり」「情理を尽くす」

この春も見事な桜が国安川のほとりを埋め尽くしました。

「ピュアマインド」などを通して劇的に整備された国安川のほとりの桜は、格別にきれいでしたので、春休み中は気持ちがウキウキしました。

春は毎年やってきて、桜も毎年咲きますが、年によって咲き始める時期、見栄えなど異なります。今の学年は今年しかありません。今年度の花をどのように咲かせるか考えてみてください。春は始まりの季節であり、まだ、目標を立てていない人にとっては、絶好の機会です。

3年生はいよいよ最高学年です。そして、成年年齢に達する学年です。あなたたちの背中を見て、1, 2年生は成長していきます。部活動や進路実現の具体的目標を定め、悔いのない高校生活にしてください。

2年生は、高校生活にも慣れ、多くのことを考え、興味関心も広がってくる時です。3年生に負けず、これから入学してくる1年生のよき先輩となれるように、挑戦を続けてください。

いつも言うことです。「始めたら始まり」です。

今年度の学校の重点努力目標は、昨年度に引き続き、「情理を尽くし、自ら考え、行動する生徒を育成する～精神(こころ)を修め、知と技を練る吉田高校～」です。「情理を尽くす」とは、相手の気持ちを汲み取りながら同時に道理にかなうようにするという意味です。お互いを尊重し、慮りながら、主体的に学習に取り組み、進路実現につなげていくという意味です。

※ 大谷選手のマンダラシート・・・「夢を実現するためには」

春休みに行われた春季四国地区高等学校野球大会県大会、松山北高校戦と準々決勝の今治西高校戦を観戦させていただきました。いつも粘り強い試合展開で、今西戦では、夏の大会のリベンジはかないませんでした。吉高の心意気を愛媛県に知らしめたと思います。

サッカー部は九州に遠征して練習試合で強豪チームに勝利することができたと聞いていますし、体育館やグラウンド、テニスコートや武道場から、熱心な練習の姿や声を感じることができました。春休みの演奏会に吹奏楽部が誘いに来てくれたことは、心から嬉しかったです。木材加工で全国大会に出場した二人も次に向けて練習に取り組んでいたと聞いています。今年度のスタートに向けて、いろいろなところで頑張っているのだと思いました。

昨年末はサッカーの世界カップで盛り上がり、年度末は、WBCで大フィーバーでした。大谷翔平選手の人気はとどまるどころを知りませんが、大谷選手が、小学校から高校まで多くの教科書に載ることが話題になっています。小学校5年生の算数では、「私と算数」というコラムで、打撃理論を算数・数学的に解説しています。打つ時の構え方を、単純な三角形におきかえて、考えたり、バットの角度や速度なども計測して練習したりしているということです。学習したことの基礎基本を大切にしていることがわかります。また、同じく5年生の道徳の教科書には「夢を実現するためには」というところで、花巻東高校時代に作成した「マンダラ」として知られる目標達成シートが紹介されています。見たことはありますか。3×3=9マスのシートを九つ並べ、九つのシートの真ん中に目標を書き込み、その周りに目標達成のための具体的方法を書いて、全部で9×9=81マスのシートを埋めています。17歳の大谷選手の真ん中の目標は「8球団からドラフト1位で指名されること」でした。そのためにすべきことを具体的に8つ書き、その8つが周囲の8つのシートの中央の目標となっています。それには、技術的なことだけでなく、「人間性」「メンタル」「運」の項目もあります。まさに情理一体の目標です。ネットに載っているのので、一度大谷選手の高校生の時のシートを見てみてください。同じ高校生として夢に向かって進もうとする皆さんの参考になります。

多くの皆さんが継続して未来に向けて前進していると思います。よい成果を出すためにより具体的な目標を設定して令和5年度のよいスタートを切りましょう。

以上で始業式式辞といたします。